https://okayama-hokusei-rc.jp/img/tmp/7/image\_147\_770.pdf

D2690岡山西北RC　クラブ会報

第２回全国インターアクト研究会参加報告 インターアクト委員会　新　倉　正　和

第２回全国インターアクト研究会が、8月2日㈮～3日㈯に神戸市の神戸国際会議場と神戸ポートピアホテルで開 催され、岡山理科大学附属中・高等学校のインターアクトクラブ顧問教員（谷川先生）とともに参加してきました。

大会テーマは、「つなぐ・むすぶ・行動する－始まるインターアクト・ネット」で、ホスト地区はＲＩ2680地区でした。大会 委員長は元ＲＩ理事の黒田正宏氏（八戸南ＲＣ）、大会実行委員長はＲＩ研修リーダーの三木明氏でありました。 二回目の開催でしたが、残念ながら第１回目より参加者がやや少ない状況でした。

全国で550あるインターアクトク ラブのうち、３１高校の顧問教員約４０名と、そのスポンサーＲＣを含めたＲＣインターアクト委員約７０名の、旭川か ら福岡までの総計１１０名が参加しました。岡山からは２高校のみの参加でありましたが、ＲＣインターアクト委員みの参加もありました。参加者は少なかったのですが、研究会自体は大変盛り上がったものとなりました。

７分科会に分かれての研究会や、各高校インターアクトクラブの活動紹介のポスター発表など、各顧問にとってお互いに新鮮な体験共有があり、今後の活動に大いに刺激・参考になったと思われました。特別講演では、兵庫県在住の作家、玉岡かおる氏が、日本で多くの西洋建築を手がけたＷ．Ｂ．ヴォーリズと満喜子夫人の波瀾万丈の人生（最新刊『負けんとき』新潮社）を通して、「ひらくこと、つなぐこと、むすぶこと、行動すること」の重要性をお話し下さった。

来年もＲＩ2680地区がホストとなって、第３回全国インターアクト研究会が神戸で開催されることが確認され閉会となりました。